

フレキシブル思考

十文字女子大学名誉教授・越谷保育専門学校参与

平田 智久



【地球規模？】

この夏は雨ばかりです。関東では 40 年ぶりともいわれています。その雨の降り方も全国共通で局地的豪雨です。強風・雷が加わりこんなことが在り得ない…でも現実のこと、その対応こそ（個人的にも社会的にも）急務です。日本ばかりではなく世界中から伝えられています。科学的なデータ収集・分析は即座に報道されていますがさまざまな被害が発生しています。氷河が溶ける、海面上昇、砂漠化が進む、海流の変化、それらに伴って人間がどう自然と向き合うのか…ということは AI（人工知能）を活用しながら人間が対峙していく課題です。種々のデータを活用しながら人間らしく生きるための予測や事後処理できるフレキシブルな行動が必要です。

【保育環境も変化】

地球のそれと同様に幼稚園をめぐる環境の変化もめまぐるしいです。「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」と三本立てで告示されたのは今年が初めてです。時代の変化の中で三省がかかわり「子ども」を主体にした養護と教育を展開していく環境を整えたともいえます。（同じ年齢なのに幼稚園と保育所でその育ちが変わっていたら変だ…と思っていた小生なので少しホッとしました。）

それらの要領と指針を同時に比較してみると章や項目を超えて「子どもの育ち」や「育てて欲しい姿」など共通した内容が多いのでうれしくなりました。特に〈「保育指針」の第一章総則の 4 幼児教育を行う施設として共有すべき事項〉という表記です。保育所は「教育施設」（学校教育法などによる）ではありませんが下線のように“制度”として認定されたことになります。（「幼稚園と保育所との関係について」昭和 38 年文部省・厚生省から保育所の 3 歳以上の教育の部分は幼稚園教育に準じる（要

約）…という通達された以来のことです。）ですから、どの施設であっても子どもが年齢にふさわしい体験を充実して行えることが大事になります。今までの園の歴史や理念を絶対なものとする信念は尊敬しますが、改めて今日的に見つめてみる…というフレキシビリティが大切ではないでしょうか、電話機もスマホになっている時代ですから。

【三つ子の魂】

幼保小連携がますます大事になってきています。小学校の先生方のお話を聞いていると幼児を赤ちゃん扱いにしているようです。その見方は幼稚園の中から見えてくる 2 歳児にも言えそうです。2 歳児はどんどん 3 歳児になっていることに気づかないのでしょうか。できなくても何でもやりたがる 2 歳児です。ですから子ども達は生活の中でさまざまな刺激を求めています。ところが保育所の多くは年齢ごとのクラス編成で、他のクラスとの連携などないのが現状です。それでは子ども達は伸びません。（特に認定こども園になった園には大事なポイントです。）子ども達は、模倣したくてうずうずしています。部屋の仕切りも見直すチャンスです。興味あるところで立ち止まり参加できる園全体の保育者集団で子どもを育てる…といった今までとは違った保育環境、興味ある子を受け入れ共に活動し、その子のタイミングで担任に戻すというフレキシビリティが必要ではないでしょうか、子ども主体で対話的で深い学びにつながる大事な時期にも思えます。人間が生まれながらに持っている感覚を駆使して身近なさまざまなこと・ものに感じて、自分の内で考えたり思ったりして、そのイメージに基づいて行動してみろという「感じて・考えて・行動する」という行動こそ AI を人間らしく活用できる未来を築く礎になるのではないのでしょうか。その原点こそが乳児から幼児期に体験的に学ぶ重要性だと考えます。

公益財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

★第8回幼児教育実践学会

全国から約720人が参加 基調講演、全体研修、口頭発表、ポスター発表などを行う

8月18日・19日の2日間、第8回幼児教育実践学会が北海道札幌市にて開催されました。1日目は道新ホール、2日目は札幌大谷大学が会場となりました。全国各地から約720人の幼稚園関係者等が参加し、「人生のスタートにこそ良質な教育を～保育臨床の視点を大切に、保育の質を問いつづけよう～」をテーマに、保育実践者と研究者が共に学び、深め合う、実践を踏まえた研究発表が行われました。詳細については以下の通りです。



●8月18日

初めに、(公財)全日私幼研究機構安家周一副理事長より開会の言葉が述べられた後、全日本私立幼稚園連合会香川敬会長より「日本の幼稚園教育は世界に冠たる幼児教育であると言われてています。そして新幼稚園教育要領や幼児教育振興法において、幼

稚園・幼児教育の位置づけがより重要なものになっております。今まで積み重ねた地道な交渉が実を結びつつありますが、すべての子どもたちが良質な教育を受けられるように尽力してまいります。2日間の実践学会で多くのことを学び、園に持ち帰り活かしていきましょう。」とあいさつがありました。

(株)学研教育みらい

東京都品川区西五反田2-11-8
幼児教育事業部

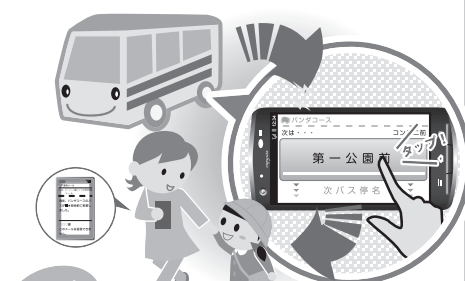
お問い合わせは
フリーダイヤル 0120-833-415

園ぴゅう太のメールサービス



らくらくメール

園から保護者へらくらくメール送信！
組別・個別送信、既読確認もできます。
サーバー二重化で、いざという時も安心です。



らくらくバスメール

スマートフォンでバスメールを送信！
大きなボタン表示で画面操作もらくらく。
タップするだけでメール送信できます。

ぜ～んぶ学研に おまかせ!!

心機一転！
リニューアル

オリジナル！
キャラクター
ロゴ

Flashで
動画！

らくらくホームページ

目的やご要望に合わせて作成し、学研が更新
もお電話・FAXで対応します。
「お知らせ更新は園で…」というご要望にも
システム併用でご対応いたします。



ご来賓に札幌大谷大学短期大学部保育科学科長星信子教授、公益社団法人北海道私立幼稚園協会川島教孝会長、公益社団法人北海道私立幼稚園協会澤田豊顧問をお迎えし、星信子教授また川島教孝会長より祝辞をいただきました。

つづいて、平成28年度・優秀教員表彰の賞状授与が行われました。教育実践活動、研究成果等の実践活動において優れた成果をあげられた8名が受賞されました。

被表彰者は以下の通りになります。

竹内倫子／学校法人札幌豊学園札幌ゆたか幼稚園教務主任・北海道

酒井啓亮／学校法人昌平翼いわき短期大学附属幼稚園教頭・福島県

渡邊理恵／学校法人聖テレジア学園小さき花幼稚園主任教諭・山梨県

依田卓／学校法人武蔵野東学園武蔵野東第二幼稚園主幹教諭・東京都

富成悦子／学校法人城北学園かぐや第二幼稚園教務主任・岐阜県

宮本涼子／学校法人大阪東学園大阪ひがし幼稚園教務主任・大阪府

平山和恵／学校法人村井学園村井幼稚園園長・愛媛県

大野江里子／学校法人中九州学園画図幼稚園主幹保育教諭・熊本県



▲優秀教員表彰

優秀教員表彰終了後、(公財)全日私幼研究機構宮下友美恵研究研修委員長より本実践学会の概要説明が行われました。

次に、島根大学大学院教授の肥後功一先生より「これからの幼児教育に求められていることー幼稚園教

幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に準じた指導計画

月刊 保育とキャリア

毎月2日発売



ひかりのくに株式会社

本社/〒543-0001 大阪市天王寺区上本町3-2-14 TEL.06-6768-1151代表
支社/〒175-0082 東京都板橋区高島平6-1-1 TEL.03-3979-3111代表

育要領・学習指導要領の改訂を踏まえて一」をテーマに基調講演が行われました。



▲基調講演

つづく全体研修では、「保育を語り、保育を伝える～ポートフォリオなど写真を使うことの可能性を探る～」をテーマに、保育のデザイン研究所研究員の相馬靖明氏を講師に迎え、事例提供者として北海道・白石幼稚園教諭の小野寺由紀先生／谷口綾乃先生、神奈川県・西鎌倉幼稚園教諭の佐藤典子先生、京都府・泉山幼稚園教諭の荻野和美先生、にご登壇いただき、行われました。

全体研修終了後の「保育者と研究者の交流懇親会」では、保育者と研究者同士の活発な交流が行われたほか、2日目の口頭発表・ポスター発表に向け、発表者による概要紹介が行われました。



▲全体研修



▲交流懇親会

●8月19日

2日目は札幌大谷大学を会場に、午前の口頭発表Ⅰ、午後の口頭発表Ⅱ合わせて22発表が行われました。

また昼食の時間と並行して、39のポスター発表が行われました。午後の口頭発表Ⅱの終了とともに、

地域で愛される園になるためのサポートブック

園のリーダーのために

保育ナビ

管理職向け月刊誌

定価：本体価格926円＋税
B5判 72ページ

2017年 10月号の主な内容

- 特集 小学校との連携・接続の実際 ～保育者は、子どもの“10の姿”をどうイメージするのか～
今後ますます重要なテーマになってくる小学校との連携・接続。新しい取組みの一例として、栃木県で行われている小学校教諭と幼稚園・保育所の保育者がペアになって行う研修事例等をご紹介します。
- 保育ナビスペシャル対談 今回のゲストは漫画家、伊藤理佐さん。子どもと過ごす時間は驚きや発見、爆笑の連続。そう気づかせてくれる伊藤さんの物事の捉え方、観察眼は、保育を行う際のヒントになりそうです。
- 2つのことわざで読み解く バランス危機管理術 子どもの重大事故で大きな割合を占める「骨折」。その原因は「落ちる」「転ぶ」の2種類です。「これくらいなら大丈夫」と過信しないことが大切です。



ISBN978-4-577-81415-4

790

本社：〒113-8611 東京都文京区本駒込 6-14-9 <http://www.froebel-kan.co.jp>
ご注文・定期購読のお申し込みは 03-5395-6608 保育事業部営業本部まで

キンダーブックの **フレイベル館**

2 日間にわたる幼児教育実践学会は終了いたしました。



▲口頭発表



▲ポスター発表

* *

第 9 回幼児教育実践学会

平成 30 年 8 月 17 日・18 日に開催を予定しております。詳細につきましては、決まり次第あらためてご案内いたします。

ECEQ コーディネーター更新講習を 開催しています

(公財)全日私幼研究機構では、幼稚園等が公開保育を実施し、外部の視点を導入することによって、自園の教育実践の質向上につなげていく学校評価実施支援システム「公開保育を活用した幼児教育の質向上システム」の開発を進めてきましたが、この度平成 29 年度からこの「公開保育を活用した幼児教育の質向上システム」の名称を ECEQ^{イーセック}としました。

研究が進むにつれ研究内容が改定されてきたため、本年度全国 5 地区において平成 25 ～ 28 年度公開保育コーディネーター養成講座修了認定者を対象に ECEQ コーディネーター更新講習を開催しています。

すでに 7 月 31 日(月)に北海道地区、8 月 1 日(火)に九州・沖縄地区、9 月 2 日(土)に東北地区での講習が開催され、計 69 名が受講しました。今後は、9 月 15 日(金)に東京、11 月 28 日(火)に大阪にて更新講習の開催を予定しています。



新しいものを見るたび、触れるたび、

目覚ましく成長する子どもたち。

子どもたちにとって、毎日が成長の舞台です。

育む環境で、子どもたちの明日は変わる。

だから、私たちは大切なことを「環境」から考えます。

好奇心や想像力、勇気や感動。

そして、子ども同士の関わり合い。

子どもたちが大切な時期に、確かな一歩を踏み出せるように、

最良な環境の未来をつくりあげていきます。

こども環境の未来をつくる



ジャクエツ

私幼時報では、平成 29 年 9 月号から平成 30 年 3 月号の 7 回にわたり、平成 29 年 3 月 12 日に開催された 2016 年度・発達保育実践政策学センター（Cedep）公開シンポジウム「乳幼児期からの縦断研究：幸せな人生のために何が必要か」の内容を報告します。

今号は 3 回に亘るロンドン大学・イングリッド＝ショーン博士の第 2 回目の講演報告になります。なおこの報告は便宜上一人称で書きますが、全て引用という訳ではなく、一部平林祥先生（大阪・ひかり幼稚園）が加筆・修正をしておりますことをご了承ください。

イギリス・ロンドン大学 イングリッド＝ショーン博士／講演概要

人生初期のスキルがその後の成果にもたらす影響

【文献レビューを通して得られたエビデンス】

文献レビューを通して明らかになったエビデンスでまず挙げられるのは、人生の最初期の乳幼児期においても、重要な社会的・情緒的・認知的スキルは高い信頼性で測定できるということです。『信頼性が高い』とは、同じ人が同じ条件で同じ測定を受けたときに同じような結果が出る、という意味で、信頼性が低い測定では同じ条件下でも結果にばらつきが出ます。これまで乳幼児については、認知的スキルのみ高い信頼性で測定できると言われてきました。

次に、自己制御と自己覚知（自己認識）が、多分野にまたがる将来のアウトカムを長期的に予測する指標であるという、中程度から強いエビデンスが得られました。この効果は、認知的能力とは独立して（関係なく）示されています。

情緒的安定性、動機付け、社会的スキルに関しては、自己制御や自己覚知と比べると弱いものの、統計的に有意なエビデンスが得られました。特に、幼少時の情緒的安定性と成人後のメンタルヘルスや身体的健康、幼少時の社会的スキルと成人後のメンタルヘルスには顕著な関連が見られ、領域固有の効果が示唆されます。

さらに、言語的スキルは複数の領域（社会経済的達成、メンタルヘルス、身体的健康、犯罪など）における将来のアウトカムの重要な予測指標である一

方、数的スキルは学業的達成と社会経済的地位、身体的健康のアウトカムと関連があることが明らかになりました。実行機能は、主として学校での学業的達成や行動との関連が認められました。

【エビデンスの空白】

これまでに集められてきたエビデンスには、こういった空白があるのでしょうか。前回書いたように、多くの研究は 1 つのスキルやアウトカムに焦点を合わせていますので、異なるスキルを組み合わせる観点からのエビデンスは充分ではありません。それに加えて、乳幼児期（就学前）の子どものスキルを測定したデータは不足しており、多くのエビデンスは就学後の 6～8 歳以降の子どもの測定を通して得られています。

【これまでの研究で得られたエビデンスの限界】

この文献レビューから言えることは、これまでの研究を通して得られたエビデンスには、限界があるということです。質が高く大規模な長期縦断研究は充分にありません。適切な測定方法を用いていない、適切な統制群を設定していない、限られた数の欧米諸国の調査で対象に偏りがある、など、エビデンスの質を制限する要素があります。

他にエビデンスを得る上での制約となるのが、長

期縦断研究が行われた当時の研究者の研究関心です。例えば、英国で実施された 1946 年・1958 年・1970 年の研究では、情緒的スキルは測定されていませんでした。なぜなら、子どもたちが乳幼児期からすでに情緒的な問題を抱えている可能性があることが、当時はまだ明らかになっていなかったからです。測定していないスキルを過去に遡って調査することはできないので、それぞれの時代の研究者の研究関心とそれに伴って測定され記録されたデータにより、得られるエビデンスが制約されます。

別の問題として、スキルの概念化や評価について研究者間で意見が一致しておらず、同じ内容を異なる言葉を使って表現したり、同じ言葉を使って異なる内容を表現するなど、用語の混乱もエビデンスを得る上での制約となります。

また、構成概念の重複という問題もあります。自己制御とは、子どもが自分の衝動をコントロールすること、注意の制御とは、子どもが自分の注意を持続させることです。自己制御と注意の制御という構成概念の間には重複があり、これもエビデンスを得る上での制約となります。

【これから必要となる取り組み】

これらの制約を乗り越えるために、今後必要な取り組みについて述べます。

まず、概念や測定方法についての一致を目指す必要があります。その方法としては例えば、重要な概念の定義を統一をすることや、それぞれの研究の測定や応答にバイアス（偏りや歪み）がかかっていることに注意することがあります。多くの研究は欧米諸国で実施されていますが、他の国や地域の文化的文脈においては異なる理解・解釈があり、それに伴い異なる応答がみられる可能性があります。また、新しい技術の開発により、これまでにはない方法で子どもの発達を測定することができるようになってきました。これまでは親からの聞き取り調査や、教室での子どもの行動観察によってデータを集めてきましたが、今後は新しい技術を使って生理的な反応を見ることができるようかもしれません。

さらに、これまで十分に検討されてこなかった研究テーマ（例えば動機付けや自己決定の早期指標など）に対する理解を深める必要があります。また、スキルの発達に関する縦断的な研究がより多く行われる必要があります。これまでのように就学後からではなく、より早い乳幼児期に焦点を合わせて、その後の追跡をしたデータが求められます。

【BCS70（英国コホート研究）】

BCS70 は、1970 年のある一週間に生まれた約 17,000 人の子どもたちを追跡した研究です。出生

保育力の向上のために

資質向上の取組の証明に

積極的に研修に参加し、その履歴を研修ハンドブックに記録しておきましょう。

監修

公益財団法人 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

新版 研修ハンドブック

4103501 **756 円**（本体 700 円）

- B6 判
- 120 ページ
- ビニールカバー入り

ご用命はお近くの書店、またはワンダー販売会社まで。

株式会社 世界文化社 ワンダー事業本部
TEL03-3262-5128



時の医療記録からデータを収集し、最新のデータは2012年・42歳の時点で収集しています。長期間にわたる追跡調査により、幼児期のスキルが42歳時点でのアウトカムにどのように影響しているのかが明らかになります。

調査方法 調査では、医療記録の他に、子どもに関する保護者の報告を受け、認知スキルについては直接的な測定も行います。認知スキルの測定には、ラッター行動尺度とEPVT(英国描画語彙テスト)、「デザインをコピーしよう」テスト、「人を描こう」テストを用いました。

アウトカムの指標と統制した指標 42歳時点でのアウトカムは、以下の指標について測定しました。

- 1) 精神的なウェルビーイング(人生の満足度、ウェルビーイング、無気力)
- 2) 教育(学位の取得)
- 3) 社会経済的地位(世帯所得、資産、公営住宅に入居)
- 4) 労働市場における状況(上位の職種、雇用、時給、職務満足感)
- 5) 身体的な健康(健康の自己評価、肥満)

- 6) 健康に対する行動(運動、喫煙、飲酒)
- 7) その他(政治への関心など)

以下の指標は、統制し(条件を揃え)ました。

- 1) 子どもの属性(出生時の体重と性別、民族、5歳時点で兄弟がいる、30歳時点での教育歴)
- 2) 保護者の属性(出生時の両親の教育歴と年齢、5歳時点の母親のメンタルヘルスと両親の雇用状況)
- 3) 家庭の状況(5歳時点の世帯所得と公営住宅居住歴)

42歳時点でのアウトカム(認知的スキル)3種類の認知的スキルが、42歳におけるアウトカムにどのような影響を及ぼすのかを表①にまとめました。

表①に書かれたプラス(+)の記号は、そのスキルが高いほど、より高いアウトカムが見られること

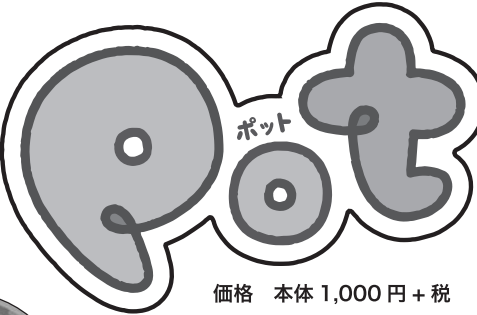
	教育/労働市場/ 社会経済的	メンタルヘルス& ウェルビーイング	身体的健康 & 健康的行動	その他
視覚運動スキル	GCSE試験(+); 学位(+) 雇用(+); 上位の職種(+) 収入(+); 賃金(+); 財産(+) 公営住宅(-)	不調(-) 人生の満足感(+)	健康の自己評価(+) 肥満(-) 運動(-) 喫煙(-)	パートナーとの関係(+)
言語スキル	GCSE試験(+); 学位(+) 雇用(+); 上位の職種(+) 賃金(+); 収入(+) 公営住宅(-)	ウェルビーイング(+) 不調(-) 人生の満足感(+)	健康の自己評価(+) 飲酒(-)	パートナーとの関係(+) 政治への関心(+) 親であること(-)
概念的成熟	雇用(+) 公営住宅(-)			政治への関心(+)

▲表①



ポットは毎号CD-ROM付き!

チャイルドブックの月刊保育雑誌



価格 本体 1,000円 + 税

好評発売中!

チャイルド本社

**保育に役立つ
アイデア満載!**

行事

遊び

食育

0・1・2歳児

〒112-8512 東京都文京区小石川 5-24-21
TEL 03-3813-2141 FAX 03-3814-3392
<http://www.childbook.co.jp/pot/>

を示します。例えば、視覚運動スキルと言語スキルのどちらでも〔学位 (+)〕と書いてあるのは、認知的スキルのうち視覚運動スキルが高いほど、また言語スキルが高いほど、42 歳時点で学位を取得している可能性が高いということです。逆にマイナス (-) の記号は、そのスキルが高いほど、より低いアウトカムが見られることを示します。例えば、視覚運動スキルと言語スキル、概念的成熟のいずれでも〔公営住宅 (-)〕と書かれており、認知的スキルの3技能それぞれが高いほど42 歳時点で公営住宅に住んでいる可能性が低い（自分で購入した家に住んでいる）ことを示しています。

結果全体を見渡しますと、認知的スキルが様々なアウトカムに影響を及ぼしていることが明らかです。また、3種類の認知的スキルは、それぞれ異なるアウトカムに影響することも分かります。例えば、〔身体的健康〕については、言語スキルよりも非言語的な視覚運動スキルの方が重要であることが示唆されています。こうしたことから、認知的スキルがそれぞれ補完的な役割を果たすことを踏まえ、言語スキルだけでなく非言語的スキルについても重要視していく必要があります。

42 歳時点でのアウトカム(個人内スキルと社会的スキル)
3 種類の個人内スキルと社会的スキルが、42 歳におけるアウトカムにどのような影響を及ぼすのかを表②に

	教育/労働市場/ 社会経済的	メンタルヘルス& ウェルビーイング	身体的健康 & 健康的行動	その他
自己統制 (多動でない)	GCSE試験 (+)	ウェルビーイング (+) 不調 (-)		政治への関心 (+) パートナーとの関係 (+)
自己制御 (道徳的に良い行為)	GCSE試験 (+); 学位 (+) 雇用 (+); 上位の職種 (+) 仕事の満足感 (+) 公営住宅 (-)	人生の満足感 (+) 不調 (-) ウェルビーイング (+)	喫煙 (-) 飲酒 (-) 健康の自己評価 (+)	政治への関心 (+)
社会的スキル			飲酒 (+)	親であること (+)

▲表②

まとめました。

表②から、自己統制スキルと自己制御スキルの両方が、教育的達成・労働市場における地位の獲得・身体的健康などの様々なアウトカムに大きな影響を及ぼすことが分かります。また、社会的スキルは自己統制スキルや自己制御スキルと比較すると、影響が小さいことも分かります。また、スキルが高いことが必ずしも良いアウトカムにつながらないということは、幼児期の社会的スキルの高さが〔飲酒〕行動を高めるということから示唆されます。

また、ここまで認知的スキルと社会情緒的スキル(個人内・社会的)を分けて見てきましたが、例えば〔学位〕や〔心理的ウェルビーイング〕については、どちらのスキルもそれぞれに (+) のアウトカムに結びついています。ですから、どちらか一方のスキルの方がより重要というのではなく、やはりどちらも重要で、だからこそバランスのとれた発達が重要だということと言えます。

(つづく)

(大阪府・ひかり幼稚園／平林祥)



くるんとバス

-通園バス位置情報システム-

バス専用機不要！
スマホで簡単バス運行管理！

いつもNAVI

「いつもNAVI 動態管理サービスfor送迎バス(くるんとバス)」は、株式会社ゼンリンデータコム登録商標です。

「くるんとバス」はスマートフォン・タブレットのGPS機能を活用したシステムで、バスの運行情報や到着メール・ルート作成等を提供するクラウド型サービスです。



株式会社チャイルド社 インターネット課

TEL.03-5370-7497 〒167-0052 東京都杉並区南荻窪4-37-15

ホームページアドレス <http://www.child.co.jp/>

平成29年度 振興資料集①

○平成29年度学校基本調査速報概要

幼稚園の現状

区 分		全 体		国 立		公 立		私 立	
		総 数	割 合	総 数	割 合	総 数	割 合	総 数	割 合
幼 稚 園 数		10,877	100.0%	49	0.5%	3,952	36.3%	6,876	63.2%
学 級 数		57,651	100.0%	228	0.4%	11,505	20.0%	45,918	79.6%
園 児 数	3 歳 児	370,278	100.0%	1,265	0.3%	35,664	9.6%	333,349	90.0%
	うち 満 3 歳 児	47,319	100.0%	0	0.0%	205	0.4%	47,114	99.6%
	4 歳 児	435,770	100.0%	2,012	0.5%	74,537	17.1%	359,221	82.4%
	5 歳 児	465,883	100.0%	2,011	0.4%	94,584	20.3%	369,288	79.3%
	計	1,271,931	100.0%	5,288	0.4%	204,785	16.1%	1,061,858	83.5%
本務教員数		97,842	100.0%	337	0.3%	19,827	20.3%	77,678	79.4%

注) 出典：文部科学省「平成29年度学校基本調査速報」(平成29年5月1日現在)

※満3歳児の園児数は、前年度間に入園した平成25年4月2日～26年4月1日生まれの園児数である。

※幼保連携型認定こども園の園数等は含まない。

幼稚園の園数等の推移

区 分	幼稚園数 (A)	うち私立 幼稚園数	在 園 児 数					教員数 (本務者) (C)	本務教員 1人あたり 園児数 (B/C)	幼 稚 園 修了者数	小学校及び義務 教育学校第 1学年児童数に 対する幼稚園 修了者数の比率
			計 (B)	3 歳児	4 歳児	5 歳児	うち 私立幼稚園 の在園児数				
年度	園	園	人	人	人	人	人	人	人	人	%
昭和30	5,426	3,501	643,683	11,980	115,947	515,756	402,728	24,983	25.8	500,141	20.1
40	8,551	5,382	1,137,733	46,488	393,415	697,830	836,953	45,193	25.2	666,658	41.3
50	13,106	7,796	2,292,591	131,002	943,457	1,218,132	1,721,870	85,680	26.8	1,209,152	64.0
60	15,220	8,903	2,067,951	210,662	821,145	1,036,144	1,556,881	98,455	21.0	1,032,892	63.6
平成元	15,080	8,793	2,037,614	259,051	816,143	962,420	1,576,909	100,407	20.3	961,842	64.0
2	15,076	8,785	2,007,964	275,201	795,056	937,707	1,568,141	100,935	19.9	961,842	64.0
3	15,041	8,769	1,977,611	300,242	774,127	903,242	1,560,274	101,493	19.5	937,880	64.0
4	15,006	8,737	1,948,868	323,776	753,856	871,236	1,551,042	102,279	19.1	903,948	64.1
5	14,958	8,704	1,907,110	322,763	741,745	842,602	1,520,513	102,828	18.5	872,061	63.8
6	14,901	8,657	1,852,183	326,610	703,245	822,328	1,474,661	103,014	18.0	841,978	63.5
7	14,856	8,639	1,808,432	341,515	689,807	777,110	1,439,992	102,992	17.6	822,209	63.2
8	14,790	8,601	1,798,051	346,675	693,668	757,708	1,431,056	103,518	17.4	777,675	62.8
9	14,690	8,556	1,789,523	350,401	682,115	757,007	1,422,090	103,839	17.2	785,467	62.5
10	14,603	8,524	1,786,129	371,308	673,089	741,732	1,419,452	104,687	17.1	757,660	62.3
11	14,527	8,497	1,778,286	358,093	691,828	728,365	1,410,817	105,048	16.9	741,362	61.6
12	14,451	8,479	1,773,682	370,237	656,806	746,639	1,402,942	106,067	16.7	728,334	61.1
13	14,375	8,443	1,753,422	381,798	664,732	706,892	1,385,641	106,703	16.4	747,154	60.6
14	14,279	8,410	1,769,096	398,626	657,316	713,154	1,399,011	108,051	16.4	707,642	59.9
15	14,174	8,389	1,760,494	400,243	658,631	701,620	1,392,640	108,822	16.2	712,935	59.3
16	14,061	8,363	1,753,393	410,228	642,804	700,361	1,389,997	109,806	16.0	702,255	58.9
17	13,949	8,354	1,738,766	420,343	637,554	680,869	1,383,249	110,393	15.8	700,745	58.4
18	13,835	8,317	1,726,520	423,770	629,348	673,402	1,377,688	110,807	15.6	682,082	57.7
19	13,723	8,292	1,705,402	428,928	613,556	662,918	1,367,723	111,239	15.3	672,925	57.2
20	13,626	8,276	1,674,172	427,148	602,112	644,912	1,349,247	111,228	15.0	662,911	56.7
21	13,516	8,261	1,630,336	415,991	584,228	630,117	1,318,006	110,692	14.7	644,771	56.4
22	13,392	8,236	1,605,912	435,457	559,513	610,942	1,304,966	110,580	14.5	631,221	56.2
23	13,299	8,226	1,596,170	443,750	570,750	581,670	1,303,803	110,402	14.5	611,036	55.7
24	13,170	8,197	1,604,225	442,508	566,985	594,732	1,314,968	110,836	14.5	584,417	55.1
25	13,043	8,177	1,583,610	440,512	554,321	588,777	1,303,661	111,111	14.2	595,976	54.8
26	12,905	8,142	1,557,461	441,834	540,560	575,067	1,287,284	111,059	14.0	590,632	54.2
27	11,674	7,304	1,402,448	398,054	488,412	515,982	1,158,902	101,497	13.8	578,804	53.5
28	11,252	7,076	1,339,761	384,109	460,583	495,069	1,111,301	99,957	13.4	518,301	48.5
29	10,877	6,876	1,271,931	370,278	435,770	465,883	1,061,858	97,842	13.0	496,309	46.5

注) 出典：文部科学省「学校基本調査」。平成29年度は「速報値」。3歳児には満3歳児入園者を含む。

※幼保連携型認定こども園の園数等は含まない。

3歳児教育の普及状況の推移

区 分	幼 稚 園 数				在 園 児 数				3 歳 児 在 園 児 数			
	計	国 立	公 立	私 立	計	国 立	公 立	私 立	計	国 立	公 立	私 立
昭和60年度	15,220	48	6,269	8,903	2,067,951	6,609	504,461	1,556,881	210,662	988	4,645	205,029
61	15,189	48	6,267	8,874	2,018,523	6,593	481,109	1,530,821	222,677	985	4,974	216,718
62	15,156	48	6,263	8,845	2,016,224	6,600	470,454	1,539,170	232,398	999	5,563	225,836
63	15,115	48	6,251	8,816	2,041,820	6,606	467,611	1,567,603	246,770	1,000	5,594	240,176
平成元年度	15,080	48	6,239	8,793	2,037,614	6,557	454,148	1,576,909	259,051	980	5,738	252,333
2	15,076	48	6,243	8,785	2,007,964	6,581	433,242	1,568,141	275,201	981	5,625	268,595
3	15,041	48	6,224	8,769	1,977,611	6,630	410,707	1,560,274	300,242	983	6,096	293,163
4	15,006	49	6,220	8,737	1,948,868	6,613	391,213	1,551,042	323,776	1,032	7,037	315,707
5	14,958	49	6,205	8,704	1,907,110	6,740	379,857	1,520,513	322,763	1,102	8,424	313,237
6	14,901	49	6,195	8,657	1,852,183	6,786	370,736	1,474,661	326,610	1,119	10,838	314,653
7	14,856	49	6,168	8,639	1,808,432	6,778	361,662	1,439,992	341,515	1,120	13,236	327,159
8	14,790	49	6,140	8,601	1,798,051	6,827	360,168	1,431,056	346,675	1,124	15,784	329,767
9	14,690	49	6,085	8,556	1,789,523	6,803	360,630	1,422,090	350,401	1,132	17,957	331,312
10	14,603	49	6,030	8,524	1,786,129	6,823	359,854	1,419,452	371,308	1,167	21,339	348,802
11	14,527	49	5,981	8,497	1,778,286	6,911	360,558	1,410,817	358,093	1,181	23,804	333,108
12	14,451	49	5,923	8,479	1,773,682	6,889	363,851	1,402,942	370,237	1,207	28,131	340,899
13	14,375	49	5,883	8,443	1,753,422	6,819	360,962	1,385,641	381,798	1,188	33,270	347,340
14	14,279	49	5,820	8,410	1,769,096	6,804	363,281	1,399,011	398,626	1,203	36,867	360,556
15	14,174	49	5,736	8,389	1,760,494	6,718	361,136	1,392,640	400,243	1,229	39,307	359,707
16	14,061	49	5,649	8,363	1,753,393	6,626	356,770	1,389,997	410,228	1,210	41,311	367,707
17	13,949	49	5,546	8,354	1,738,766	6,572	348,945	1,383,249	420,343	1,217	42,800	376,326
18	13,835	49	5,469	8,317	1,726,520	6,531	342,301	1,377,688	423,770	1,237	43,082	379,451
19	13,723	49	5,382	8,292	1,705,402	6,457	331,222	1,367,723	428,928	1,270	42,987	384,677
20	13,626	49	5,301	8,276	1,674,172	6,374	318,551	1,349,247	427,148	1,265	42,702	383,181
21	13,516	49	5,206	8,261	1,630,336	6,315	306,015	1,318,006	415,991	1,278	42,104	372,609
22	13,392	49	5,107	8,236	1,605,912	6,215	294,731	1,304,966	435,457	1,310	43,436	390,711
23	13,299	49	5,024	8,226	1,596,170	6,044	286,323	1,303,803	443,750	1,308	43,663	398,779
24	13,170	49	4,924	8,197	1,604,225	5,930	283,327	1,314,968	442,508	1,291	43,451	397,766
25	13,043	49	4,817	8,177	1,583,610	5,785	274,164	1,303,661	440,512	1,292	42,599	396,621
26	12,905	49	4,714	8,142	1,557,461	5,614	264,563	1,287,284	441,834	1,259	42,315	398,260
27	11,674	49	4,321	7,304	1,402,448	5,510	238,036	1,158,902	398,054	1,288	38,438	358,328
28	11,252	49	4,127	7,076	1,339,761	5,394	223,066	1,111,301	384,109	1,324	37,107	345,678
29	10,877	49	3,952	6,876	1,271,931	5,288	204,785	1,061,858	370,278	1,265	35,664	333,349

注) 出典：文部科学省「学校基本調査」。平成29年度は「速報値」。3歳児には満3歳児入園者を含む。
 ※幼保連携型認定こども園の園数等は含まない。

幼保連携型認定こども園の園数等

区 分		全 体	公 立	私 立
園 数		3,672	552	3,120
学 級 数		17,274	2,480	14,794
園 児 数	0 歳	18,523	1,781	16,742
	1 歳	54,291	6,293	47,998
	2 歳	64,273	7,867	56,406
	3 歳	121,769	14,607	107,162
	4 歳	123,169	16,241	106,928
	5 歳	123,516	17,067	106,449
	計	505,541	63,856	441,685
本務教員数		75,577	8,934	66,643

注) 出典：文部科学省「平成29年度学校基本調査速報」（平成29年5月1日現在）

都 道 府 県 別

区 分	幼 稚 園 数				在 園 児 数 (1)				3 歳
	計	国立	公立	私立	計	国立	公立	私立	
1 北 海 道	438	2	56	380	51,182	130	2,237	48,815	15,420
2 青 森	94	1	3	90	5,734	75	45	5,614	1,700
3 岩 手	102	1	46	55	7,387	107	1,446	5,834	2,199
4 宮 城	247	1	79	167	29,769	124	4,105	25,540	8,226
5 秋 田	41	1	7	33	2,934	93	395	2,446	874
6 山 形	75	1	12	62	7,249	99	637	6,513	2,130
7 福 島	276	1	154	121	20,358	49	6,205	14,104	5,927
8 茨 城	277	1	147	129	25,469	92	6,598	18,779	6,721
9 栃 木	114	1	1	112	16,798	158	91	16,549	5,242
10 群 馬	163	1	73	89	13,891	140	3,961	9,790	4,362
11 埼 玉	563	1	52	510	97,259	80	3,111	94,068	29,565
12 千 葉	520	1	110	409	80,102	140	6,851	73,111	23,447
13 東 京	995	2	171	822	157,429	365	12,487	144,577	48,862
14 神 奈 川	667	0	43	624	118,478	0	2,602	115,876	34,689
15 新 潟	97	2	33	62	7,256	113	1,867	5,276	2,287
16 富 山	57	1	23	33	3,807	100	999	2,708	1,184
17 石 川	59	1	2	56	6,752	116	99	6,537	2,243
18 福 井	83	1	59	23	2,585	98	754	1,733	731
19 山 梨	57	1	2	54	4,160	92	145	3,923	1,308
20 長 野	94	1	9	84	9,475	85	493	8,897	3,045
21 岐 阜	177	0	75	102	21,628	0	4,379	17,249	6,790
22 静 岡	416	1	218	197	45,079	109	14,446	30,524	14,084
23 愛 知	477	1	82	394	84,889	126	9,088	75,675	27,225
24 三 重	215	1	160	54	16,690	130	7,039	9,521	4,405
25 滋 賀	147	1	127	19	13,979	136	11,244	2,599	3,551
26 京 都	215	1	59	155	24,913	129	3,715	21,069	7,742
27 大 阪	649	1	290	358	92,129	147	16,754	75,228	25,597
28 兵 庫	558	2	351	205	54,317	213	17,811	36,293	11,992
29 奈 良	175	2	132	41	13,754	275	8,008	5,471	3,677
30 和 歌 山	83	0	49	34	6,231	0	1,852	4,379	1,900
31 鳥 取	20	1	3	16	2,253	76	157	2,020	702
32 島 根	92	1	78	13	3,522	62	3,052	408	1,049
33 岡 山	276	1	245	30	16,382	143	10,627	5,612	3,801
34 広 島	256	2	85	169	27,010	153	2,752	24,105	7,890
35 山 口	180	1	42	137	15,359	103	1,507	13,749	4,881
36 徳 島	143	1	132	10	6,238	127	5,150	961	543
37 香 川	148	1	114	33	11,350	134	6,027	5,189	3,378
38 愛 媛	145	1	62	82	12,970	124	2,356	10,490	4,013
39 高 知	41	1	16	24	2,789	107	618	2,064	838
40 福 岡	456	1	46	409	62,895	49	2,826	60,020	19,543
41 佐 賀	63	1	9	53	4,953	79	536	4,338	1,518
42 長 崎	117	1	29	87	9,697	129	921	8,647	2,757
43 熊 本	110	1	30	79	10,207	139	1,715	8,353	3,172
44 大 分	186	1	121	64	9,967	147	2,738	7,082	2,264
45 宮 崎	98	1	14	83	6,821	104	298	6,419	2,042
46 鹿 児 島	161	1	78	82	11,785	91	1,969	9,725	3,295
47 沖 縄	254	0	223	31	16,050	0	12,072	3,978	1,467
総計 (全 国)	10,877	49	3,952	6,876	1,271,931	5,288	204,785	1,061,858	370,278

注) 出典：平成 29 年度学校基本調査速報（平成 29 年 5 月 1 日現在）

※前年度間入園の在園児数は、平成 28 年度間に満 3 歳児入園した人数である。

※幼保連携型認定こども園の園数等は含まない。

幼稚園の現状

(平成29年5月1日現在「学校基本調査速報」)

左記のうち前年度 間入園(内数)	在園児数(2)		教員数(本務者)				小学校及び義務 教育学校第1学年 児童数(A)	幼稚園修了者数 (H 29. 3) (B)	就園率 (B / A)
	4歳	5歳	計	国立	公立	私立			
2,681	17,396	18,366	4,487	10	353	4,124	40,098	19,432	48.5%
746	1,961	2,073	680	6	14	660	9,589	2,102	21.9%
604	2,514	2,674	702	7	217	478	9,721	2,901	29.8%
722	10,696	10,847	2,219	7	444	1,768	19,178	11,531	60.1%
214	993	1,067	353	10	51	292	6,818	1,141	16.7%
608	2,524	2,595	722	6	54	662	8,705	2,999	34.5%
1,219	6,968	7,463	1,896	4	617	1,275	14,638	8,024	54.8%
936	9,124	9,624	2,033	6	672	1,355	24,205	10,269	42.4%
1,422	5,740	5,816	1,596	7	11	1,578	16,489	6,805	41.3%
1,105	4,545	4,984	1,425	8	428	989	16,237	5,821	35.9%
1,424	33,282	34,412	6,634	5	272	6,357	61,458	37,104	60.4%
1,272	27,637	29,018	5,175	7	630	4,538	51,795	30,838	59.5%
2,162	53,621	54,946	10,754	20	842	9,892	103,400	56,937	55.1%
1,134	41,270	42,519	7,873	0	221	7,652	76,796	45,231	58.9%
554	2,310	2,659	782	10	189	583	18,184	2,922	16.1%
381	1,273	1,350	423	7	102	314	8,133	1,588	19.5%
972	2,150	2,359	676	7	14	655	9,508	2,383	25.1%
280	865	989	345	6	122	217	6,844	1,113	16.3%
242	1,391	1,461	469	6	15	448	6,637	1,777	26.8%
494	3,180	3,250	792	7	57	728	17,551	3,375	19.2%
1,530	7,151	7,687	1,915	0	559	1,356	17,733	8,037	45.3%
2,135	15,065	15,930	3,567	7	1,351	2,209	31,717	16,927	53.4%
3,326	28,666	28,998	5,226	6	659	4,561	69,251	30,794	44.5%
637	5,884	6,401	1,492	8	797	687	15,599	6,828	43.8%
14	5,042	5,386	1,335	7	1,133	195	13,640	5,796	42.5%
1,554	8,379	8,792	2,196	8	356	1,832	21,100	9,228	43.7%
1,896	32,286	34,246	6,590	10	1,537	5,043	72,601	36,462	50.2%
1,050	20,180	22,145	4,216	15	1,669	2,532	48,163	24,234	50.3%
185	4,857	5,220	1,297	15	847	435	11,192	5,515	49.3%
439	2,128	2,203	550	0	221	329	7,496	2,239	29.9%
301	727	824	247	6	13	228	4,747	737	15.5%
49	1,171	1,302	414	6	355	53	5,740	1,385	24.1%
497	6,024	6,557	1,376	8	956	412	16,748	6,991	41.7%
1,278	9,312	9,808	1,986	11	269	1,706	25,632	10,399	40.6%
1,344	5,114	5,364	1,354	7	147	1,200	11,450	5,550	48.5%
43	2,477	3,218	681	8	573	100	5,951	3,304	55.5%
611	3,799	4,173	1,072	8	662	402	8,418	4,443	52.8%
951	4,335	4,622	1,149	7	266	876	11,366	4,827	42.5%
214	959	992	344	6	103	235	5,418	1,211	22.4%
5,154	21,248	22,104	4,978	6	258	4,714	47,503	22,954	48.3%
439	1,653	1,782	452	6	51	395	7,772	1,926	24.8%
905	3,355	3,585	924	8	105	811	11,795	3,723	31.6%
857	3,471	3,564	854	6	182	666	16,398	3,871	23.6%
531	3,000	4,703	913	9	336	568	10,033	5,312	52.9%
923	2,249	2,530	679	8	47	624	10,264	2,809	27.4%
1,053	4,051	4,439	850	5	183	662	15,212	4,617	30.4%
231	3,747	10,836	1,149	0	867	282	17,312	11,897	68.7%
47,319	435,770	465,883	97,842	337	19,827	77,678	1,066,235	496,309	46.5%

私学事業団からのお知らせ

平成29年度健診結果をご提出いただきまして ありがとうございます



健診結果の第2回提出期限は、平成30年**1月31日**です。引き続きご協力をお願い致します。

ご提出いただきました皆様には、健康情報冊子「QUPiO(クピオ)」を
8月末より順次発送させていただいております。

①QUPiO (クピオ)



お一人おひとりの健診結果にあわせたアドバイスを
掲載している健康情報冊子です。
ヘルシーな食事や簡単にできるヨガなど、たのしい
情報が満載！

②特定保健指導利用券(保健指導対象者のみに送付しております)



専門家(保健師や管理栄養士など)から無料でアド
バイスを受けられる券です。

*保健指導を受けませんか?(②をお持ちの方)

「生活習慣を改善したいけれど、なかなか続けられない」という経験はご
ざいませんか?

保健指導では、専門家があなたに合った、無理のない生活習慣プランを
一緒に考えていきます。

保健指導で、生活習慣改善への軽やかな一歩を踏み出してみませんか?



相談料無料

メンタルヘルス等相談サービス

私学事業団健康相談ダイヤル

心と体のさまざまなご相談に医師・保健師・助産師・看護師などがお応えします。

対象者：加入者(任意継続加入者を含む)とそのご家族及び75歳以上の教職員

健康相談

メンタルヘルス相談

医療相談

育児・介護相談

電話・面談・Webによるメンタルヘルスカウンセリングも行っています(面談は、年度内5回まで無料)。

通話料
無料

0120-24-7831

24時間
年中無休

WebカウンセリングURL

<https://t-pec.jp/websoudan/>

ユーザー名：shigaku

パスワード：247831

セカンドオピニオン相談サービス **通話料無料 0120-36-8102** 月曜日～土曜日 午前9時～午後6時

プライバシー保護を厳守しておりますので、安心してご利用ください。

※各電話番号は、一般には公開していない専用の番号ですので、取扱いにはご注意ください。

日本私立学校振興・共済事業団

福祉部 保健課 健康管理係・保健係

〒113-8441 東京都文京区湯島1-7-5

電話 03 (3813) 5321 (代表)

FAX 03 (3812) 8775

教員養成校に出向いての 就職説明会

(公社) 山梨県私学教育振興会・幼稚園部会では、平成20年より県内の教員養成校に出向き、幼稚園の仕事について、給与等処遇・求人の時期等について、また、保育現場の先輩からのはげまし等を含めた就職説明会を行ってきました。近年、東京・神奈川等の都市部での保育士不足が言われており、同時に都市部の幼児施設からの求人が山梨の教員養成校にまで届くようになってきています。実際、ここ数年、都会の幼児施設に就職をする学生さんが増えているのが現状です。給与等処遇の面をみると格段の差があり、若い学生さん方には魅力に見えるのは当然のことだと思えます。山梨県内の幼稚園・幼稚園由来の認定こども園を対象にしたアンケートでは、募集しても応募が1名も無かった園も数園ありました。このような状況を踏まえ、今年度は、県外の学校に通っていても山梨で就職したいという学生さんも対象に、隣接県の教員養成校に就職説明会の案内を送付させていただきました。同時に再就職を希望する方の発掘という事で、ハローワーク等の協力もいただいたり、従来の全体説明の他に各単園が対応するブース設定を実施しました。マスコミも取り上げてくれ、開催している場面や今後予定されている説明会の日程等もテレビで放送していただきました。

今後、認定こども園が増えていくと、さらに保育教諭の需要が高まっていきます。再就職の方の発掘及び地元で就職することのメリット等を伝えと共に、保育現場にいる私たちも就職したくなる環境作りに努力していく必要があることを強く感じています。

((公社) 山梨県私学教育振興会・幼稚園部会総務委員長、中央市・わかば幼稚園／井口太)

幼稚園の遠足先が 宗像・沖ノ島関連遺産群として 世界遺産に登録

7月9日、ポーランド・クラクフで開催された世界遺産委員会において、『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」全てが世界遺産に登録されました。福岡県、宗像市、福津市にとって最高のプレゼントになりました。

世界遺産は、私の幼稚園がある福津市と宗像市にある8構成資産で、古代東アジアにおける活発な対外交流が進んだ時期に発展し、今日まで継承されてきたことが高く評価されています。

信仰深い沖ノ島には、なかなか行くことはできませんが、交通安全祈願で有名な宗像大社では、世界遺産の全容を垣間見れる施設もあり更に多くの観光客が訪れることでしょう。

私たち幼稚園の近くにある「新原・双山古墳群」は、海を越えた交流の担い手として沖ノ島祭祀を行い、信仰の伝統をつくった宗像氏の墳墓群だったのです。そのようなこととは露知らず、歴代幼稚園生たちが毎年の遠足の間として駆け上っては、遠くの海を眺めて「海は広いな！大きな！！」って叫んでいました。

ただの丘で、園児の遊び場が世界遺産になっても、新しい流れの中で私学助成園から認定こども園に姿を変えても、変わらない物、変えてはいけない物があります。幼稚園における、幼児教育は、生涯にわたる人間形成の基礎を培う非常に重要な場所・時期なのであります。その重要性を噛みしめ、園児一人一人が世界遺産に負けないぐらいの人財になることを願い、地域の益々の発展を日々夢見ています。

((一社) 福岡県私立幼稚園振興協会・福岡部会振興委員長、福津市・光明幼稚園／阿部良寛)

平成 29 年 秋の全国交通安全運動

内閣府では、交通事故防止の徹底を図ることを目的に秋の交通安全運動を実施しています。

29 年秋は、「子供と高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止」・「夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止」・「全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底」・「飲酒運転の根絶」の 4 つを運動の重点として、普及啓発活動を全国各地で一斉に行います。

詳細につきましては内閣府のホームページをご確認ください。

http://www8.cao.go.jp/koutu/keihatsu/undou/h29_aki/youkou.html

- 運動期間：平成 29 年 9 月 21 日～ 30 日
- 交通事故死ゼロを目指す日：9 月 30 日（土）

編集後記

調査広報委員会が主体となって実施しております「ようちえん絵本大賞」の選考に携わって今年で 6 年目となります。毎年冬に行われるこの選考会に候補作（委員が 2～3 冊を持ち寄る）を提出するため、作品選びにはかなりの時間と労力を必要とします。

初めの頃は選考会直前になって慌てて作品を探していましたが、ここ数年は年間を通して書店に足繁く通い、売れ筋の書籍が並ぶランキングコーナーなどは目もくれず、絵本コーナーへとまっしぐら。いきなりこれだ！と思うような一冊と出会うこともあれば、何時間書棚を巡っても心に響くものがまるでない日もあります。

つまり人が一冊の絵本と出会うということは、すなわち生涯にわたる無二の親友と出会うようなものなのではないか？ そんな出会いを一人でも多く子ども達に届けたくて、私は今日も絵本コーナーへ向かいます。

（調査広報編集委員・前田幹）

平成 29 年度（第 8 回）免許状更新講習の認定一覧

●選択領域「受講者が任意に選択して受講する領域」に関する免許状更新講習

講習の開催地	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	受講数	認定番号
北海道 函館市	「保育の実践力を高める」 「保育現場での質を高める」、「幼稚園の役割を広め深める」の 2 つの事項について理解と実践をふり返り、応用力をつけ保育現場における現代的な課題に関する知識と理解を得ることを目指す。また、幼稚園教諭免許状の更新者に焦点を当てた内容としている。	本田真大（北海道教育大学函館校 准教授） 伏見千悦子（北翔大学教育文化学 部教育学科准教授）	6 時間	平成 29 年 11 月 11 日	100 人	平 29- 80012- 507899 号
山口県 宇部市	本講習は、「幼稚園教育内容を深める」ことを目的として、 ① 特別支援対象児における個々の理解に基づいた関わり ② 発達障害の種類と理解 ③ 特別支援児の保護者支援と連携などを中心に講義等を行います。	高田晃（宇部フロンティア大学人 間社会学部教授、宇部フロンティ ア大学大学院人間科学研究科教授）	6 時間	平成 29 年 11 月 11 日	50 人	平 29- 80012- 507900 号

PTA しんぶん ぜひご活用ください

「全日私幼連 PTA しんぶん」は「子どものしあわせを願う親と先生のひろば」としての役割を果たしています。PTA しんぶんを希望される園は、（公財）全日本私立幼稚園幼児教育研究機構までお問い合わせください。

☎ 03-3237-1957 （公財）全日私幼研究機構・調査広報委員会